



碧南ロータリークラブ週報

第2701回例会 平成26年9月3日(水)

- 会長 石橋 嘉彦
- 幹事 伊藤 正幸
- 会場監督(SAA) 清澤 聡之

2014-2015 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



- 会報委員 奥津順司・藤関孝典・吉武敏彦

● 斉 唱

国歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

● 四つのテスト唱和

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

碧南市スポーツ少年団 副本部長 岡田一穂様
碧南市スカウト育成連絡協議会 碧南第一団ベンチャー隊 隊長 熊沢雄一様

会 長 挨拶

8月31日に碧南市、愛知県合同の津波、地震想定防災訓練が開催されました。参加機関108機関、参加人数1万人、国、県、市、民間機関、陸、海、空の機能を駆使し、連携して救助、復旧に努める訓練内容でした。こうした訓練を積み重ねる事により、色々な課題が見え、いざという時の心構えが出来ると思います。参加された方々にはご苦労様でした。



石橋嘉彦会長

さて、9月は新世代のための月間です。本日の例会は、クラブフォーラムにおいて、青少年活動団体への助成金を贈呈し、それぞれの活動報告をして頂きます。

2010年規定審議会においてロータリーの奉仕部門として、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新たに新世代（青少年）奉仕が五大奉仕として規定をされました。

碧南 RC としては昭和39年にボーイスカウト発隊に関わり、昭和50年には少年サッカークラブ結成に関わり、昭和51年よりボーイスカウト海洋少年団、サッカースポーツ少年団

に助成を始めて、青少年育成団体の活性化に努めて参りました。現在はボーイ、ガールスカウト連盟、サッカーや軟式野球のスポーツ少年団に対して毎年助成を行い、青少年育成に努めております。次世代を担う子供達の健やかな成長を期待するものです。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 他クラブ例会変更等につきましては、幹事報告書の通りでございます。
- ・ ガバナー月信9月号にガバナー公式訪問の事が掲載されました。
- ・ ガバナー事務所より配布依頼のございました、福島の風評被害払拭プロジェクト「福島にこらんしょ！」のリーフレットをメールボックスにてご案内させていただきましたので、よろしくお願い致します。
- ・ WFFの協賛チケットの購入希望の名簿をお返ししております。複数枚の購入も可能ですので、奮ってご参加頂ければと思います。
- ・ 例会終了後、第3回理事会を201号室にて開催致しますので、理事、役員の方はよろしくお願い致します。



伊藤正幸幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 69 名 (内出席免除者 17 名の内出席者 13 名)出席者 59 名	
出席対象者 59/65 名	出席率 90.77%
欠席者 10 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

- 伊藤 正幸君 8月31日の愛知県と碧南市の合同防災訓練に参加しました。トヨタさんの衣浦寮の3階まであがりました。
- 清澤 聡之君 碧南市スカウト育成連絡協議会に助成いただきまして、ありがとうございます！
- 岡本 耕也君 先日、息子がイギリスの大学に入学するため、イギリスに旅立ちました。何とか4年間無事に卒業してくれることを祈るばかりです。

<親睦活動委員会>

会員誕生日

5日 西脇 博正君 12日 長田 豊治君 13日 岡本 明弘君

27日 清水 俊行君 28日 寺尾 正史君

奥様誕生日

15日 長田 和徳君の奥様 真由美様 21日 竹中 誠君の奥様 みのり様
26日 森田 雅也君の奥様 千恵子様

結婚記念日

11日 渡部 哲也君・泰子様 24年 23日 石橋 嘉彦君・里美様 31年
24日 黒田 昌司君・みゆ子様 34年 26日 山中 寛紀君・恭子様 31年
30日 鶴田 光久君・美奈子様 35年

クラブフォーラム

「青少年活動の助成金贈呈及び活動報告」 碧南市スポーツ少年団 副本部長 岡田一穂様



岡田一穂様

貴重な貴クラブ様の助成を賜り、深く感謝申し上げます。私は、碧南市スポーツ少年団の会計を兼ねております、副本部長の岡田と申します。本来ならば、本部長の伴野がこの席に赴き、御礼を述べますところですが、あいにく所要があり、私が代理とさせて頂いておりますこと、ご容赦賜りたく存じます。

スポーツ少年団の歴史はまだ浅く、昭和の終わり頃だったと思いますが市体育課、現在のスポーツ課より2年後に当市において愛知県スポーツ少年団西三河地区大会を開催する運びとなったのでよろしく、という半ば強制的な発議がありました。

子供達にスポーツを指導している団体の代表が10名ほど選定され、右往左往しながら開催できた事を今でも覚えております。

平成9年度からは、これから頑張ってくださいという訳か、親会である市体育協会から若干の助成金を受け、細々と運営をしておりましたら、平成13年度にまた西三河地区大会を開催する事になりました。この時は秋とはいえ、残暑厳しい中、西端の水上スポーツセンターと応仁寺を会場として、盛大に開催する事ができ、後日、空手指導員をやっている私の知り合いから感謝の手紙を頂いた覚えがあります。

平成23年にもこの大会が当市の開催となりましたが、涼しい秋の実施という事で、大浜てらまち事業と共催という形で子供達に参加を頂きました。

現在、スポーツ少年団には、空手、卓球、サッカー、剣道、野球、新体操、ソフトテニス、陸上、バスケの9種目30団体、1,276人の小中学生が加入しています。市内の小学校7校に4,391人、中学校5校に2,205人が在籍しておりますので、約20%の子供達が私どもの少年団に加入している事になります。これは5人に1人が加入という事になります。

平成25年度の決算を見ますと、歳入額は1,215,269円で、歳出額は1,151,069、次年度へは64,200円を繰り越しております。

平成26年度におきましても予算額に大きな変わりはありませんが、規模の拡大により今までの予算組では対応できず、歳出の見直しを理事会、総会にて了承願ったところでありませ

ず。
まだたくさんの案件があるようでございますので、私からのご報告はこれにて終えさせていただきます。

これからも青少年の健全な育成を目指して、私ども碧南市スポーツ少年団は鋭意努力をして参りますので、改めて皆様のお力添えを今にも増してお願いするものであります。

本日はお招き下さり、誠に誠にありがとうございます。

碧南市スカウト育成連絡協議会

碧南第一団ベンチャー隊 隊長 熊沢雄一様



熊沢雄一様

碧南ボーイスカウト碧南第一団ベンチャー隊の隊長をやらせて頂いております、熊沢と申します。よろしくお願ひ致します。

ここに、碧南ボーイスカウトが25周年目に作った古い冊子がございます。この中に、現団員長の服部が書いたものがございます。そこにはこのような事が書いてあります。

とにかくボーイスカウトはお金がありません。昭和39年の発団した当初、お金がなくてテントもありませんでした。全て家からの持ち寄りでした。その年の隊キャンプをやる3日前ぐらいに、ロータリーさんから連絡を頂き、お金は後でどうにかするからテントぐらい買いなさい、という話を頂き、スポーツ用品店へ走ったそうです。今から約50年前に碧南にボーイスカウトが生まれました。

ボーイスカウト自体は、1907年にイギリスのベーデンパウエルが始めたと聞いております。彼は、イギリス陸軍の大將をやられた方で、軍隊での経験を子供達に伝えるために、「スカウティング」という冊子を作りました。それが子供達に広まっていき、集まってやるから隊長をやって下さい、という流れになったそうです。

その後アメリカへ渡るわけですが、アメリカの貿易商の方が霧の濃いイギリスで道に迷った際に、一人の少年が道案内をしたそうです。そこで、「君はなぜそんなに親切なの？」と聞いてチップを渡そうとしたところ、少年は、「今日一日、何かいい事を探してました。」と言いました。その少年に感銘を受けた貿易商の方がボーイスカウトの本部まで行き、そこからアメリカへ伝わり、全世界へスカウトの輪が広がったと聞いております。

ボーイスカウトというのは、各年代クラス別になっておりまして、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、とそれぞれ、ビーバースカウト、カブスカウト、ボーイスカウト、ベンチャースカウト、ローバースカウトと5つの部門で構成されております。碧南にも、ビーバーからローバーまで全部で約90名が在籍しております。今年9月から27年度が始まります。9月で始まり、8月のキャンプでその年を締めくくるという形です。訓練ばかりではなく、

色々な事をしております。個人個人から隊費を集めてはいるものの、それだけでは活動は難しく、ロータリークラブさんをはじめとする皆様方から助成金を賜ります事は、私たちの健全な育成活動に対し、ご理解頂いたという事で有効に使わせて頂いております。

発団50周年記念を致しまして、8月に県民の森でキャンプをやりました。ちょうど台風の時でした。なぜ台風の時と言われます。ただ、隊リーダーとして参加させて頂きましたが、それが良かったのか悪かったのかの結果はすぐに出ないと思います。参加して頂いた子供達にとって、10年後か20年後か分かりませんが、それは子供達自身が決める事かなと思います。

今この場を借りてお話するのはおこがましいのですが、スカウトの基本は「かきくけこ」だと考えております。感動、基本、工夫、健康、行動です。行動するにはお金がかかります。それをロータリーさんに助成金として頂いております事は、重ね重ねになりますが、本当に御礼申し上げます。

ボーイスカウトとは、自然と平和を愛する健やかな青少年を育成する世界運動です。ロータリーさんの奉仕の理念とほとんど同じではないか、と思っております。子供達に指導するという表現をよく使いますが、本当は子供達に遊んでもらっております。色々な子供達がいいます。色々な個性があります。

私は昭和40年に横浜でボーイスカウトを始めました。その当時、隊費は月に150円でした。やる内容は、一泊二日で隊長さんの家の裏庭でテントを張り、カレーを作ったりしていました。昭和45年の大阪万博があった年に、第5回日本ジャンボリーを富士山の裾野でやりました。その時は天候にも恵まれ、一週間過ごしました。その翌年は、世界ジャンボリーの第13回大会だったのですが、台風直撃で朝起きたら水が膝まで来ておりました。本当は逃げたくなかったのですが、派遣隊の隊長さん達が危ないから逃げろ、という事で初めて自衛隊の御殿場基地へ行かせて頂きました。

そこに行かないとやれない事、経験できない事がたくさんあります。色々な場所へ行き、子供達と半分遊びながら、半分訓練しながらやっていきたいと思っております。目指すところは、よりよい心を持った少年達を育成する事です。

最後になりますが、ボーイスカウトとは、自然と平和を愛する健やかな青少年を育成する世界運動です。この言葉で締めくくりたいと思っております。本日はありがとうございました。

次回例会案内

平成26年9月17日（水）

卓話「クラブ活性化こそ会員増強の決め手

“今ランチからディナーへ”」

地区会員増強委員会 委員長 石川勝彦氏